

熱血高校生 販売甲子園実行委員会

販売甲子園は、高校生が商品を販売して売り上げなどを競うイベント。同実行委員会が企画・運営する

吉井VYS

バイワイエス

吉井地域を拠点として、子どもの遊び場づくりやまちおこしイベントなどの補助を行うボランティア

NPO法人 DNA

ディーエヌエー

大学生が中心となって若者の就職支援やまちづくりイベントなどを行うNPO法人

ガッツのある 若者を応援

新春

ほっと
Tタイム

若者が つくる新。しい高崎

若い世代の人たちは今、高崎をどう思っているのか。どういうまにしたいのか。今回のほっとTタイムは、市内で活動するボランティア団体などから6人の若者に参加していただきました。高崎をもっと元気でエキサイティングなまちにするため、どうすればいいのか。富岡市長とともに考えていきます。

活動をとおりて知った

魅力ある高崎

市長 皆さん、明けましておめでとうございます。若い人がこれだけ集まると、雰囲気が出るんですね。一同 明けましておめでとうございます。今日はよろしくお願ひします。

市長 皆さんは、高崎を盛り上げようと、いろいろな活動をしてくださっていますよね。普段の生活や活動をとおして、高崎ってこんなところが欠けているな、と思ったことはありませんか。

鈴木 私は千葉県出身なんですが、地元の友達が来たときに遊べる所が少ないなと思っています。

市長 観光ですね。確かに若い人たちが丸一日時間を使って遊べる場所はないですね。

岸 僕たち若い世代が高崎の魅力を知らないというのがあります。スズ

飽きないような、工夫や知恵が必要ですよ。

郷 子どもたちと同じ目線で楽しんでやっています。

市長 そうですか。地域の若者が、その地域でやる活動は貴重だと思います。土屋さん、岸さんが取り組んでいる「熱血高校生販売甲子園」は有名なイベントになりましたね。

土屋 ありがとうございます。大学生50人ほどで実行委員会をつくって企画・運営しています。

市長 実際に店を出して、販売を競うのは高校生ですよ。

岸 そうです。11月のえびす講と一緒にの日にやっています、商店街や地域の方と協力して開催しています。

市長 販売甲子園は1年に1回ですよ。私は、こういうまちを盛り上げるイベントが1年に何度も行われる雰囲気ではないかな、と思っているんですよ。いつもいつも若い人たちがグルグル歩いている。そんなまちにしたいと考えています。

鈴木 私たちDNAはこれまで年1回の開催だったイベントを、今年から3回に増やしました。正直、3回は忙しくてきついのですが。

市長 自分が辛かったり、大変になったりしたとき、「疲れたから、あなたと一緒にやってくれないか」ってやる仲間をつくるのが大切かもしれないですね。

小池 そう思います。僕は今年度大

ランや駅ビルなどのデパートには買い物に行きますが、まちなかの店は素通りしてしまいます。

土屋 私は活動をとおりて、まちなかの商店街にはたくさん魅力的なお店があることを知りました。でもこうした機会がなかったら、きっと分からなかったと思います。

市長 なるほど。若い人には、もっとまちなかの魅力を知ってもらいたいですね。それぞれの大学から商店街に買い物に出るバスを企画してみてもいいかな。

鈴木 いいですね。ぜひ使ってみて。

困ったときに 頼れる仲間づくりを

市長 私は、高崎をさらに元気にしていくためには、若い世代のパワーが欠かせないと思っています。皆さんは普段、どんな活動をし

学1年生で活動を始めて、DNAの仲間のおかげで、濃密な学生生活を経験することができました。

もっとワクワクできて 格好良いまちに

市長 皆さんは、就職を高崎で考えていますか？

杉山 私は一生群馬で暮らしたいと思っています。できれば高崎で働いて、子育てもここでしたいです。子育てするなら高崎で、って言われるような活動もしたいですね。

市長 それは、うれしいね。しかし今、高崎で若者が就職するのは至難の業です。若者に活躍してもらうためにも、企業を呼び込んで、何が何でも雇用を増やそうと取り組んでいるところです。

岸 来年就職活動を始めるのですが、高崎で働きたいと思っています。

市長 企業を多く呼び込むために

ているのですか？

鈴木 私たちNPO法人DNAは、若者の就職・就労支援やまちのイベントなどのお手伝いをしています。

小池 他にも高崎市内の企業を紹介する冊子を作ったり、企業と若者の交流会などのイベントを開いたりしています。

市長 なるほど。企業と若い人を結びつける場の創造ですね。そういう取り組みは珍しい。素晴らしい活動だと思います。吉井VYSさんはいかがですか。

郷 僕たちは、吉井地域のまちおこし活動への参加や、子どもたちの健全育成に力を入れています。

杉山 冬だったら地域のクリスマス会のお手伝いなどです。自分たちがサンタクロースになって、楽しい企画を考えるんですよ。

市長 子どもたちと一緒に遊んで遊ぶのは大変でしょう？子どもたちが

は、もっと高崎のまちに人が歩いていて活気がないとダメなんです。そのためにはもっとワクワクできて、格好良いまちにならないといけない。

土屋 私は市外出身ですが、このまちでたくさんの人たちと触れ合っていて、本当に愛着を感じるようになりました。

鈴木 私です。県外出身なので、最初はまちへの思い入れが少なかったのですが、商店街の人や、まちの人たちと知り合って、すごい人がいっぱいいるということも分かりました。

市長 若い皆さんには、まちを元気にするアイデアをどんどん出して実践に移してほしいですね。何か新しいことを始めるときには、問題点から考えるんじゃ進まない。まずやってみようっていう気合いとガッツでぶつかってみることが大切だと思いますよ。

小池 これからもっと頑張って、高経大だけじゃなくて、他の大学にも活動の輪を広げていきたいです。

郷 今の活動を後輩たちにも引き継げるよう、新しい工夫を考えていきたいです。

市長 高崎をもっと元気に、いいまちにしていきたいにも、皆さんの活躍に期待しています。本日はありがとうございました。

一同 ありがとうございます。

